

vol.

101

2020

9/25 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



CONTENTS

赤い羽根共同募金運動スタート	2	摺糠児童館・一戸南学童クラブってどんなところ?	8～9
特集一戸町社協指定居宅介護支援事業所	3	つながる地域つなぐて・と・て part6	10
夫婦長寿祝記念写真	4～5	社協からのお知らせ	11
できごとフラッシュ	6～7	相談日程表 etc	12

題号 "ゆいっこ" は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

10月1日から

「赤い羽根共同募金運動」

がスタート!

募集期間

令和2年10月1日より

皆さまのご協力をよろしく
お願いします。

今年も一戸町共同募金委員会が中心となり、赤い羽根共同募金運動を行います。

法人募金、大口募金につきましては社協役員または民生委員がお伺いし、戸別募金につきましては行政連絡員又は班長がお伺いします。

共同募金は、戦後間もない昭和22年に市民が主体の民間活動として始まりました。社会の変化のなか、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」として取り組まれています。

家庭・職場・学校など気軽にできるボランティア活動です。皆さまのご理解とご協力のほどお願いいたします。

ご協力いただいた募金は、

- ・高齢者等の宅配食事サービス事業
- ・チャイルドシート貸出事業
- ・ボランティア活動保険助成事業
- ・いきいきサロン助成事業
- ・長寿祝品贈呈事業

などの地域福祉支援事業などに役立てられます。



令和2年度目標額 総額 3,650,000 円

募金方法



「特集」一戸町社協指定居宅介護支援事業所 介護と無関係なあなたへ ケアマネジャーからの手紙

居宅介護支援事業所は、介護保険法にもとづき、要介護認定を受けた人が介護サービスなどを利用しながら、在宅生活の継続を支援する事業所です。

今回は、普段介護に馴染みのない方でも「居宅介護支援事業所」について知ってもらえるよう、本会居宅介護支援事業所の業務についてご紹介いたします。

「困った」は突然やってきます。その「困った」が大切な両親の介護についてだったら、どうしますか？

「爺ちゃんは老人ホームに入所している。婆ちゃんはデイサービスを利用している。これは介護が身近にあればこそ。これまで「介護保険サービス」とは縁がない方も多いと思います。

いつもと同じ朝、ご飯を食べ、ご近所と挨拶を交わす当たり前の毎日。いつもと何も変わらない、変わるはずのない

いと思っていた両親が、夜中に救急車で病院へ。

例えば病院で、あなたは担当医より「今まで通りの生活が送れない、退院後は介護が必要になる」「病院にいられるのは必要な治療が終わるまで、自立していた生活が送れる様になるまではいられます」と説明を受けます。そこで初めてあなたは選択を迫られます。

「介護が必要になった親の生活」と「自分自身の将来」をどうするのか。

お風呂に入る。トイレや廊下の手すりを付ける。このチヨットした事が出来ないだけで、住み慣れた自宅を離れなければならない選択を両親にさせてしまうかもしれません。

「私の両親は元気に働いている。そんな今までの暮らしが一変した時『相談する場所』を知って下さい。それが『居宅介護支援事業所』です。そこで働く私たちケアマネジャーは、住み慣れた地域で、その人らしい生活を続ける為のお手伝いを致します。

本会居宅介護支援事業所では、4名の介護支援専門員(ケアマネジャー)が、居宅サービス計画(ケアプラン)を作成、事業所との連絡・調整などを行っています。

Step 1 介護相談はお気軽に



介護申請や手続き、地域のサービス等情報提供します。

Step 2 プラン作成



介護が必要な状況や生活環境など相談内容を分析・評価します。

Step 3 サービス利用



サービスと生活がご本人に合っているかを一緒に確認します。

Step 4 振り返りと改善



新たな課題などがあれば何度でも修正します。再びStep 2へ。

自分の家で暮らし続けたい時に(Ⅱ居宅)、必要な介護を受けたい時に(Ⅱ介護)、力になり手伝う(Ⅱ支援)。「居宅介護支援事業所」にケアマネジャーはいます。(文・関上)

お問い合わせはお気軽に

一戸町社協指定居宅介護支援事業所 ☎ 33-3621



〔樋ノ口〕 田頭正一様(83) 和子様(78)



〔月館・稲荷〕 清川孫左エ門様(80) ノブ様(78)



〔月館・稲荷〕 苗代幅清志様(82) フデ様(78)

朴の木の
枯れ立つ庭に
今日も来て
啄木鳥二羽の
この一途さよ
初森
テル

百歳を目指す希望は
「寝たきり」の
無き暮しなり
今朝もウオーク
柴田
サヨ子

ハイタッチ
ばあばと一歳
五月晴れ
中館
木実

蚕の
今宵は二つ
ゆうらゆうら
仁昌寺
洋子



〔野中〕 田頭仁三夫様(79) 愛子様(78)



〔悪戸平〕 柴田継男様(79) チエ子様(78)



〔八木沢〕 田村豊美様(80) 和子様(78)



〔袋町〕 蟹澤勝蔵様(85) ヨネ様(78)



〔野里〕 南館安美様(82) 幸子様(78)



〔中町〕 野里秀彦様(84) 操様(78)



〔西法寺〕 平野孝造様(84) 祐子様(78)



〔奥中山2〕 山下勝美様(86) ミワ様(78)

めおと長寿祝い 記念品贈呈



一戸町社会福祉協議会では、ご自宅で暮らす78歳以上のご夫婦を対象に記念品（記念写真または商品券）を贈呈しています。今年度記念写真撮影をされたご夫婦を紹介します。
また、一戸町文化協会短歌・俳句部会の皆様より、夫婦長寿の皆様に向けて、短歌及び俳句を詠んで頂きましたのでご紹介いたします。
※順不同で掲載させていただきますのでご了承ください。



〔穴久保・女鹿沢〕 穴久保茂夫様(82) ウメ子様(78)



〔穴久保・女鹿沢〕 穴久保徳蔵様(81) 千代子様(78)



〔野田〕 内田和洋様(78) アイ子様(79)

ふるさとの味を次の世代へ 下檜山地区サロン活動

老人クラブ下檜山どんぐり会（中道昌司会長）では、ふれあいきいきサロン活動の一環として、7月15日（水）「地域おこし協力隊との串もちづくり交流会」を行いました。

下檜山地区サロン活動は、地域の老人クラブの女性メンバーを中心に毎月第3水曜日に開催しています。年々減少する参加者に歯止めをかけようと、今年度は活動内容に工夫を凝らし男性や若い世代を巻き込んだ活動を展開中です。

串もちづくりの講師は、地域に住む坂ノ上藤枝さん（87）。「賑やかな活動ができて嬉しい、またやりたい」と次の活動を楽しみにしていました。



1講師坂ノ上藤枝さん（中央）より作り方を教わる、地域おこし協力隊員（右）。
2火起こしと焼きの工程は、男性の参加が頼もしい。
3美味しそうに焼けた串もち。50本程も焼き上げた。

わんこの会とブルーベリー狩り体験 小鳥谷保育所

7月9日（木）、小鳥谷保育所（松館聖子所長）では、子どもたちに犬と触れ合うことの楽しさを伝えようと「わんこの会」が開催されました。中には怖がる子もいましたが、触ったり散歩させたり、普段体験できない生き物とのふれあいを楽しみました。

その後は、地域の方の畑でブルーベリー狩りを体験しました。甘さに驚く顔、すっぱくてしかめた顔、色んな表情が可愛い子どもたちでした。



恐る恐る「わんこ」に触れる園児たち。



外で食べる摘み立てブルーベリーの味は格別でした。

高校生ボランティア大活躍 オレンジカフェさくららの会

オレンジカフェさくららの会（代表柏葉英美県立大准教授）は、認知症のある人とその家族が自分らしく暮らし続けられる居場所作りを目的として、毎月第3土曜日に一戸町コミュニティセンターにて認知症カフェを開催しています。

7月と8月の開催日には、一戸高校福祉系列2、3年生がボランティアとして参加し、高齢者から小さい子どもまで、幅広い世代の参加者に対して優しく丁寧に接してくれました。



高齢者から昔の遊びを教わったり、子どもへ本の読み聞かせを行う一戸高校の生徒。

いつまでも夫婦仲良く 高村正彦写真館写真撮影会

元気にご自宅で暮らす78歳以上の高齢者夫婦へ贈る、夫婦長寿祝い写真撮影会が、8月6〜7日と27日に御所野縄文公園などにて行われました。

夫婦長寿祝い写真の撮影は、昭和52年より40年以上にも亘り、高村正彦写真館様（店主高村正彦様、妻より子様）より先代の頃からご協力頂いております。

今年の撮影は、総勢16組のご夫婦を対象に、昔話や普段の生活の様子などの会話をしながら終始笑顔で撮り終えることができました。（今年度写真撮影されたご夫婦の紹介はP4〜5ページをご覧ください。）



カメラに笑顔を向ける長寿対象ご夫婦。



高村正彦写真館店主
高村正彦様と妻より子様。

すいか割りで夏満喫 奥中山放課後学童クラブ

8月3日（月）、奥中山放課後学童クラブ（坂ノ上智佳子館長）は、夏休み中の子ども達の活動としてすいか割りを行いました。

「右ー左ー!」という大きな声援と空振りしたときの大笑いで、終始賑やかなイベントとなりました。動いた後のすいかの味はいつも以上に格別で、短い夏の風物詩を思う存分楽しみました。



友達の声に頼りにすいかを目指します。

商業と福祉の連携を目指して まるっとカフェ開催中



宮田温泉でのカフェ、図書コーナーの様子。

一戸町地域包括支援センターと当協議会で開催するまるっとカフェは、毎月1回町内5地区の商業店舗等にて開催中です。

7月28日（火）は旭食堂（岡部伸夫店主、高善寺野田15）、8月27日（木）は宮田温泉（土川昭悦組合長、月館宮田5-7）にて開催しました。当日は相談、物販、図書等のブースを設け、乳幼児から高齢者まで多くの住民が参加しました。

老若男女問わず多くの住民が入り出る商業店舗等と福祉が連携することで、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指していきたいと思えます。



旭食堂で開催したカフェには、近隣商店の方も多く足を運んでくれました。



一戸南学童クラブ

ってどんなところ？

協調性豊かに



みんな仲良くよーいドン！

ルールを守る



スポーツを通じてルールを守る子。

自ら学ぶ



自主学习、集中…。



遠足に出かけみんなでカレーを作りました。

《季節のイベント》



トリックオアトリート！
福祉施設へハロウィン慰問。



座禅体験。真剣なまなざし。



摺糠児童館

ってどんなところ？

自然や仲間とのふれあい



お友達に優しく、
そして仲良く

豊かな人間性



静かに話を
聞く



元気に外で遊ぶ

感謝するところ



珍しい色の葉っぱみっけ！



外で食べるご飯美味しいね

一戸町社会福祉協議会では、今年度より町内8つの保育施設等の運営を町より受託することとなりました。今回は前号に引き続き、2つの保育施設をご紹介します。

☆NIPPON
一戸南学童クラブは、南小学校の校庭に面した小さなプレハブの建物で39名の子供たちが過ごしています。
放課後、集団で過ごすことの少なくなった子どもたちにとって、学童のような異年齢集団は貴重な存在と言えます。人間形成の土台ともなる学童期に学童ならではの、中線ふみや缶けり、たすけ鬼など集団で遊ぶ楽しさを十分に味わい、人と関わることの大切さを感じ取って欲しいと思います。
また、いろいろな行事も子供たちの楽しみの一つです。ハロウィンで老人ホームを慰問したり、クリスマス会でのダンスや劇の発表などの他に遠足でいろいろな場所にも出かけます。
子どもたちが色々な体験を通して、成長してくれることを願っています。
(文：西山指導員)



一戸南学童クラブ指導員の皆さん

施設データ

(令和2年8月25日現在)

- 施設名 一戸南学童クラブ
- 所在地 一戸町西法寺字 関屋 150-1
- 施設長 下村 孝子
- 職員数 4名
- 児童数 39名

次号では、小鳥谷保育所と小鳥谷学童クラブをご紹介します。

施設データ

(令和2年8月25日現在)

- 施設名 一戸町立摺糠児童館
- 所在地 一戸町中山字高屋敷 28-106
- 施設長 大和田 留吏子
- 職員数 2名
- 児童数 4名



摺糠児童館職員の皆さん

☆NIPPON
「オニヤンマだ〜」「こっちは、カエルがいた〜」と毎日外に出ては虫探しに夢中になる子どもたち。周囲を大自然に囲まれた摺糠児童館では、春には北海道のような大な畑を見下ろすお散歩を楽しんだり、夏には園庭で泥んこや水遊び、秋には近くの山に栗拾いや虫取り、摺糠の四季を体いっぱい楽しんでいきます。
異年齢児で一緒だからこそ楽しめる経験と、家庭的な雰囲気だからこそできる様々な経験を味わいながら、いきいきと成長してほしいと思います。
(文：大和田館長)

職員募集のお知らせ

◆令和3年度職員（保育士）を募集します。詳しくはホームページをご覧ください。

採用予定人数：2名

資格：40歳未満の方（令和3年4月1日現在）*注

専門学校、短期大学、大学卒業（令和3年度3月卒業見込み含む）保育士及び幼稚園教諭免許を有する者又は受験資格を有する者

*注）雇用対策法の例外事由3号イ：長期勤続によるキャリア形成を図る観点から、若年者等を期間の定めない労働契約の対象として募集・採用するため。

給与：161,900円～

申込受付期間：令和2年9月10日（木）～令和2年10月9日（金）当日消印有効

提出書類：下記事務局へお問い合わせください。

◆町内放課後学童クラブで指導員として働くパート職員を募集しています。保育に関心がある方、お気軽にご連絡下さい。

時給：800円～



◆介護を要する方の通院時移送支援サービス運転ボランティアを募集しています。

資格：①普通自動車第二種免許所持の方

②自家用自動車有償運送運転者講習を受講された方、または受講可能な方（2日程度）
いずれかに該当する方

時給：800円～

問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385（職員採用担当まで）

生活福祉資金教育支援資金のご案内

所得の少ない世帯等を対象に、高校、大学、短大、専門学校への就学に際し必要な経費として、授業料や通学費用等就学に必要な経費を無利子で貸与する制度です。詳しくは、下記までお問い合わせください。

資金の種類と内容：

種類	使途内容の例	貸付限度額		据置期間	返済期間	貸付利率
		高校	高専			
教育支援費	学校教育法に規定する高等学校、大学、高等専門学校に就学するのに必要な経費	月額 35,000円以内	月額 60,000円以内	卒業後6ヵ月以内	20年以内	無利子
		短大 月額 60,000円以内	大学 月額 65,000円以内			
		大学 月額 65,000円以内	500,000円以内			
就学支度費	学校教育法に規定する高等学校、大学、高等専門学校への入学に際し必要な経費	500,000円以内				

必要な書類：借入申請書、住民票、世帯の所得がわかる書類（所得証明書、給与明細書、年金証書等）、合格通知書または在学証明書、就学経費がわかる書類など

問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385

ご利用ください「おげんき・みまもりシステム」

高齢の家族と離れて暮らしていると、健康状態は気になるもの。日常の体調、安否が確認できる「おげんき・みまもりシステム」を活用してみませんか。

利用者が、自宅の電話機で日常の健康状態を自主発信。発信した情報が、本会や遠方の親族の携帯電話へ届きます。詳細は下記までご連絡下さい。

利用料：設定無料 ※発信時通常の電話料金がかかります。

問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385

オレンジカフェさくらの会のご案内

認知症の方もそうでない方も、気軽に立ち寄りお茶を飲みながら、元気に暮らすことを続けられるようにサポートする場所です。お気軽にお立ち寄りください。

日時：主に毎月第3土曜日 午後1時00分～午後3時00分
10月17日（土）、11月21日（土）、12月26日（土）

場所：一戸町コミュニティセンター 参加費：100円

問い合わせ先：

オレンジカフェさくらの会 代表 柏葉
（県立大学社会福祉学部内 ☎ 019-694-2388）
一戸町地域包括支援センター / ☎ 32-3700



つながる地域
つなぐて・と・て part 6



田舎や工房 菜蔵

かつて一戸では当たり前だった活気ある地域づくり、誰もが自然に手を差し伸べ支え合い助け合える地域づくり…そんな光景を再び一戸に取り戻したい！！社会福祉協議会は、住民が手と手を取り合い支え合う地域づくりの実現を目指しています。このページでは町内の住民主体による地域活動によって、地域が元気になる様々な「つながり」が生まれていく様子を毎号シリーズで紹介していきます。



田舎や工房菜蔵と、一戸町のゆるキャラ「ごしょどん」でラッピングした弁当配達専用車両。年間走行距離は5万キロ…地球1周4万キロを上回る。

県立一戸病院のちょうど真向かいに、弁当や総菜の製造販売を行う「田舎や工房菜蔵」（東山正春代表／一戸砂森52-2）があります。平成19年の創業当初は、食品販売が中心でした。病院、公共施設、ショッピングセンター、コンビニ：町の中心がこの砂森地区に移り始めた頃です。生活に便利なエリアができた一方で、そこまでも足を運べず買いたい物や移動に課題を抱える高齢者等が浮き彫りになってきました。菜蔵の業務内容も、そんな住民のニーズに応えるうちに弁当の製造販売、特にも「宅配」弁当がメインになりました。配達には、主に東山代表が担います。昼食分の配達は午前10時に出発、平均20件ほどを済ませます。店に戻るとすぐに夕食分の配達準備。午後3時に出発し、10件ちょっとの配達です。

お弁当屋さん、
またの名を地域見守り隊

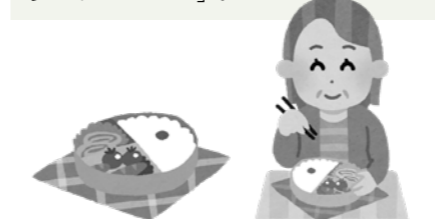


利用者ご本人へ手渡される弁当。たっぷりの野菜と肉や魚が高齢者好みに味付けされ、バランスよく詰められている。

今この先も、ずっとこの町で暮らし続けたい
「これ、うめえおんやあ〜」と弁当を片手に笑顔で話すのは、柴田タマさん（90）。炊飯は自分でできるため、注文しているのはおかずのみ。利用者が自分でできることは自分です。これも「菜蔵」の気遣いです。柴田さんは1人暮らし、宅配弁当と配達スタッフとの会話を楽しみにしています。「今日の体調はどう？」「熱いから水分摂ってよ」などと、丁寧な声をかけてくれます。美味しい食事の提供はもとより、高齢者が1番楽しみにしているのは「人とふれあい」のように感じます。また別の利用者は言いました。「こんな山奥でもこの家がいい。」数十年後の一戸町って、福祉ってどうなっているのでしょうか。高齢者の「この町に住み続けたい」という願いに、次世代を担う私たち1人1人が寄り添うこと。それが未来の一戸町、未来の福祉の姿につながるのかもしれない。



弁当配達の際に、調味料など食品配達を頼まれることも。「Uber Eats」ならぬ「Ziber Eats」?



菜蔵の宅配弁当を利用する柴田タマさん（右）と東山代表（左）。担当ケアマネジャーや家族と情報共有しながら、一人暮らしの高齢者を365日見守り続ける。

各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	10月13日(火) 10月27日(火)	10月20日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)
	11月10日(火) 11月24日(火)	11月17日(火)		
	12月 8日(火) 12月22日(火)	12月15日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 23-5800※要予約		二戸市総合福祉センター TEL 43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 33-3385

寄付御礼

(令和2年7月～令和2年9月取り扱い分)

令和2年7月豪雨災害への義援金

◆一戸町立一戸南小学校様
金 30,665 円也



(公財)一戸町社会福祉基金への寄付

◆一岩会(会長堀口泰男様)
金 30,000 円也

頂きましたご寄付につきましては、町の社会福祉事業推進のため活用させていただきます。ありがとうございました。

災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金会や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

- 東日本大震災義援金
(受付期間：令和3年3月31日まで)
- 平成28年度熊本地震災害義援金
(受付期間：令和3年3月31日まで)
- 令和2年7月豪雨災害義援金
(受付期間：令和2年12月28日まで)

その他、平成29年度以降に発生した大雨災害義援金についても受付しております。各種義援金については、一戸町社会福祉協議会(電話：33-3385)までお問合せください。



編集後記

毎年この時期に発行するゆいっこでは、敬老会の様子を中心に掲載していましたが今年は奇しくも中止。少し物足りなさを感じます…。

9月21日は皆さんご存知の通り敬老の日ですが、その日は世界アルツハイマーデーでもあります。多くの人に「認知症」について考えてもらうことが目的です。

認知症になってできなくなることもあります。皆さんのちょっとした気遣いがあれば仕事、地域活動、家事、趣味活動も可能になることがあります。認知症は4人に1人が発症するとされ、身近な病気になってきました。1人でも多くの方が認知症について考える機会になってほしいと願っています。(小野寺)

表紙の紹介



摺糠児童館で8月7日(金)に行われた、小学校1年生との交流会の様子。普段は人数の少ない学童ですが、この日は小学生も混ざり賑やかに夏のイベントを楽しみました。

社会福祉法人一戸町社会福祉協議会

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2(一戸町総合保健福祉センター内)
TEL 0195-33-3385 / FAX 0195-33-2737
ホームページ <http://ichinohe-shakyo.jp/>

